

和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 博士前期課程

令和8年度入学試験

専門科目 問題冊子

注 意 事 項

1. 受験番号と氏名を解答冊子の表紙の指定の場所に記入しなさい。
指定の場所以外に記入してある場合は、全答案を無効とします。
2. 解答は所定の解答欄に横書きで記述しなさい。
3. 問題冊子の最後にある下書き用紙は問題冊子から切り離しても構いません。
4. 提出するのは解答冊子だけです。問題冊子は持ち帰りなさい。

I. 某地域におけるサルコペニアの有病割合を調査するために、一部の集団を抽出して筋肉量の測定を行った。以下の設問に答えなさい。

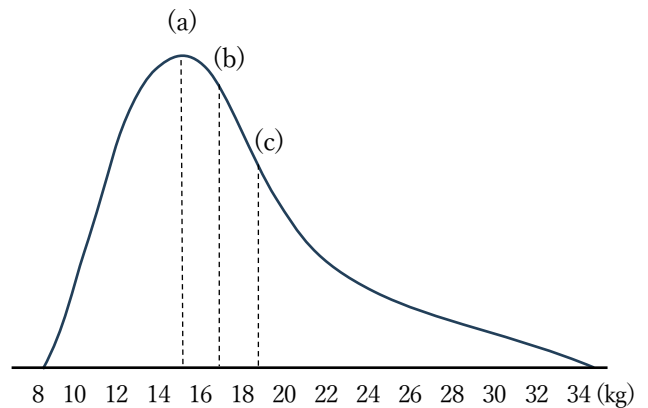
問1 下の表は、参加者のうち、40名についての筋肉量の測定結果である。このデータをもとに、解答用紙の度数分布表の空欄に適切な数字を記入し、ヒストグラムを作成しなさい。

ID	測定値(kg)	11	14.8	22	17.6	33	21.1
1	10.6	12	14.9	23	17.7	34	21.4
2	12.5	13	15.1	24	17.7	35	22.1
3	12.9	14	15.2	25	18.2	36	22.7
4	13.4	15	15.3	26	18.3	37	23.4
5	13.4	16	15.5	27	18.4	38	24.3
6	13.7	17	15.8	28	18.6	39	27.9
7	13.9	18	16.4	29	18.7	40	29.1
8	14.5	19	16.4	30	19.1		
9	14.6	20	16.4	31	19.2		
10	14.8	21	16.7	32	20.1		

問2 右下の図は、参加者全員の筋肉量のデータの分布を平滑化して示したものである。(1)、(2)に答えなさい。

(1) 筋肉量の分布の平均値、中央値、最頻値はそれぞれ図中の(a)～(c)のどれに近いかを答えなさい。また、そのように判断した理由を説明しなさい。

(2) 参加者を喫煙者と非喫煙者に分け、t検定を用いて両群の筋肉量の差を検定した。この検定方法が適切かを、その理由も含めて答えなさい。



参加者全員の筋肉量の分布

問3 下の表は、サルコペニア群と非サルコペニア群における過去の喫煙経験を比較した症例対照研究の結果である。表の下の(※注)を参考にして喫煙曝露のオッズ比を求めなさい。また、そのオッズ比から、喫煙とサルコペニアの関係について言えることを説明しなさい。

	サルコペニア群 (症例群)	非サルコペニア群 (対照群)
喫煙経験あり	a 31	b 69
喫煙経験なし	c 34	d 166

(※注) 症例群における曝露歴ありのオッズ = $a \div c$
対照群における曝露歴ありのオッズ = $b \div d$

II. 次の資料は、「わが国の年齢3区分別人口と諸指標の推移」(表1)と、「主要死因別にみた死亡率(人口10万対)の推移」(図1)である。以下の設問に答えなさい。

表1. わが国の年齢3区分別人口と諸指標の推移 (各年10月1日現在)

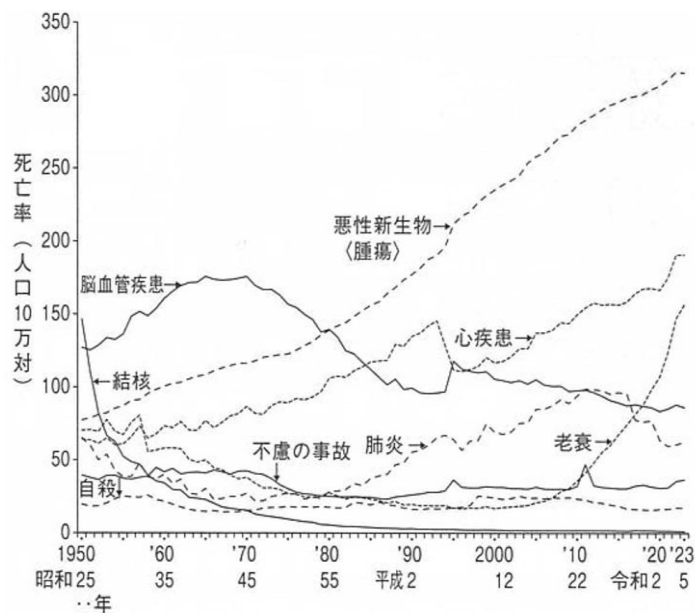
	年齢3区分別人口 (千人) ¹⁾				年齢3区分別人口構成割合 (%) ¹⁾				指 数 ²⁾			
	総 数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	総 数	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 指 数	老年人口 指 数	従属人口 指 数	老 年 化 指 数
昭和25年(1950)	83 200	29 428	49 658	4 109	100.0	35.4	59.7	4.9	59.3	8.3	67.5	14.0
35 ('60)	93 419	28 067	60 002	5 350	100.0	30.0	64.2	5.7	46.8	8.9	55.7	19.1
45 ('70)	103 720	24 823	71 566	7 331	100.0	23.9	69.0	7.1	34.7	10.2	44.9	29.5
55 ('80)	117 060	27 507	78 835	10 647	100.0	23.5	67.4	9.1	34.9	13.5	48.4	38.7
平成2 ('90)	123 611	22 486	85 904	14 895	100.0	18.2	69.7	12.1	26.2	17.3	43.5	66.2
12 (2000)	126 926	18 472	86 220	22 005	100.0	14.6	68.1	17.4	21.4	25.5	46.9	119.1
22 ('10)	128 057	16 803	81 032	29 246	100.0	13.2	63.8	23.0	20.7	36.1	56.8	174.0
27 ('15)	127 095	15 951	77 354	33 790	100.0	12.6	60.9	26.6	20.6	43.7	64.3	211.8
令和2 ('20)	126 146	15 032	75 088	36 027	100.0	11.9	59.5	28.6	20.0	48.0	68.0	239.7
4 ('22)*	124 947	14 503	74 208	36 236	100.0	11.6	59.4	29.0	19.5	48.8	68.4	249.9
5 ('23)*	124 352	14 173	73 952	36 227	100.0	11.4	59.5	29.1	19.2	49.0	68.2	255.6

資料 総務省統計局「国勢調査報告」,*は「人口推計」

注 1) 平成22年までの国勢調査値には総数に年齢不詳を含む。年齢3区分別人口には年齢不詳の案分はなく、構成割合は年齢不詳を除いた人口を分母として算出している。平成27年、令和2年は年齢不詳補完値による。

$$2) \text{ 年少人口指数} = \frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100 \quad \text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100 \quad \text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$



資料 厚生労働省「人口動態統計」(令和5年は概数である)

注 死因分類はICD-10(2013年版)準拠(平成29年適用)による。
なお、平成6年まではICD-9による。

図1. 主要死因別にみた死亡率(人口10万対)の推移

【出典：厚生労働統計協会「国民衛生の動向2024/2025 厚生指標 増刊・第71巻9号」より引用】

問1 表1から読み取れることを述べなさい。

問2 表1の年齢3区分別人口構成割合の推移と図1とを関連づけて、読み取れることを述べなさい。

IIIとIVは選択問題です。いずれか1つを選んで答えなさい。

がん看護専門看護師コースの受験者はIVを選択すること。

III. 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から
この部分は掲載しません。

著作権保護の観点から
この部分は掲載しません。

著作権保護の観点から
この部分は掲載しません。

著作権保護の観点か
ら、この部分は掲載
しません。

【出典：御田寺圭 著「ただしさに殺されないために 声なき者への社会論」大和書房より一部改変】

問1 筆者がいう「美しい物語」について説明しなさい。

問2 筆者の考えを踏まえたうえで、発達障害やコミュニケーション障害を持つ人の支援について、自身の経験にも触れながら、あなたの考えを述べなさい。

IIIとIVは選択問題です。いずれか1つを選んで答えなさい。

がん看護専門看護師コースの受験者はIVを選択すること。

IV. 以下の設問に答えなさい。

問1. がんリハビリテーションは、4つの病期的分類（Dietz分類）に分けられている。

以下のA、B、C、Dに適切な言葉を入れなさい。

- ① がん治療開始前：（ A ）的リハビリテーション
- ② 生存期間が数か月以内の進行がん：（ B ）的リハビリテーション
- ③ がんの進行や侵襲的治療により障害を持った患者に対して実施：（ C ）的リハビリテーション
- ④ がんが進行しそれに伴い障害も進行しつつある：（ D ）的リハビリテーション

問2. がんリハビリテーション看護で、あなたが考える看護師の役割を600字以内で述べなさい。